



# 鳳来北西部地域自治区

## 住みたくなるまちづくり計画



鳳来北西部地域自治区住民意見交換会（平成28年7月23日開催）

### 新城市の市民自治シンボルマーク



自治（じち）をひらがなで図案化し、世代から世代へのリレーを表現しています。また、色彩は、市内を流れる清流の青色、自然豊かな山々の緑色、そして、世代をつなぐバトンに桜の桃色をイメージしています。

平成30年3月 鳳来北西部地域協議会

# 目 次

第1章	計画の必要性	
1	計画の目的	1
2	計画の期間	1
3	計画の見直し	1
4	地域の目標	1
第2章	地域の状況	
1	人口・世帯数推移	2
2	年齢別比率・男女別人口	3
3	人口推計	4
4	子ども達の現状	6
5	主な施設	7
6	公共交通	8
7	地域の行事・特産品等	9
8	地域の組織・団体	10
第3章	地域の課題・将来像	
1	課題と将来像	14
第4章	推進計画	
1	地域振興分科会	18
2	子育て分科会	19
3	生き生き分科会	21
資 料	策定委員名簿・策定経緯	23

## 第1章 計画の必要性

### 1 計画の目的

鳳来北西部地域協議会は、『住みたくなるまちづくり』を目標にこれまで事業を進めてきました。この目標は、平成25年度に空家問題を地域協議会で検討した際にまとめられたこの地域のまちづくりに対する考え方です。

『住みたくなるまち』の実現に向け、限られた予算を効率的に使い、より良い地域づくりをするには、計画的な事業の実行が必要です。

本計画は、住民がこの地域特有の課題を解決し、地域の目標を達成するための指針であり、鳳来北西部地域に住んでいる人が住みやすく、鳳来北西部地域に来た人が住んでみたいと思う地域の実現に取り組みます。

### 2 計画の期間

本計画の期間は平成30年度から平成39年度までの10年間とし、最初の3年を前期、続く4年を中期、次の3年を後期とします。

### 3 計画の見直し

鳳来北西部地域協議会は、計画の進捗状況について管理し、計画の円滑な実行について、随時検討し、事業を実施していきます。

なお、この計画は、市の政策や地域の状況などの変化にあわせ、必要に応じて見直し出来るものとします。

### 4 地域の目標

鳳来北西部地域自治区は、『住みたくなるまちづくり』を目標に地域づくりを進めます。



## 第2章 地域の状況

### 1 人口・世帯数推移

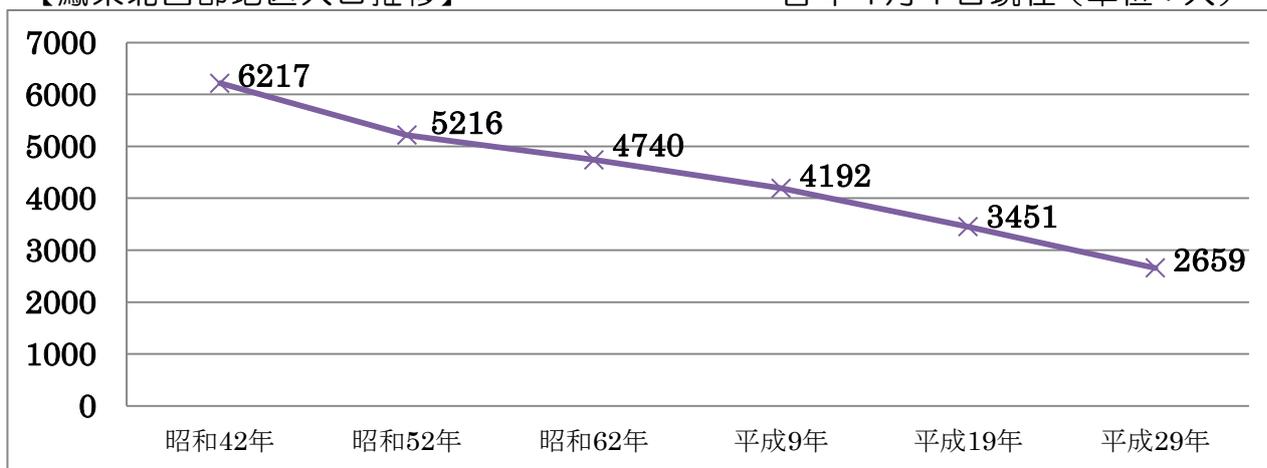
鳳来北西部地域自治区の人口は年々減少する傾向にあります。

昭和42年に6,217人だった人口が、年々減り続け、平成29年には2,659人と約6割の減少となっています。

世帯数は、昭和42年は1,373世帯でしたが、平成29年に1,120世帯となり、約2割の減少に留まっています。

※いずれのデータも住民基本台帳を基に記載しています。

【鳳来北西部地区人口推移】 各年4月1日現在（単位：人）



【鳳来北西部地区世帯数推移】 各年4月1日現在（単位：世帯）



【鳳来北西部地区（3地区毎）人口・世帯数推移】

	鳳来寺地区		鳳来西地区		海老地区	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
昭和42年	1,759	398	1,951	399	2,507	576
昭和52年	1,497	379	1,647	384	2,072	522
昭和62年	1,466	418	1,422	353	1,852	487
平成9年	1,381	471	1,244	333	1,567	460
平成19年	1,182	466	1,042	317	1,227	434
平成29年	988	443	794	297	877	380

## 2 年齢別比率・男女別人口

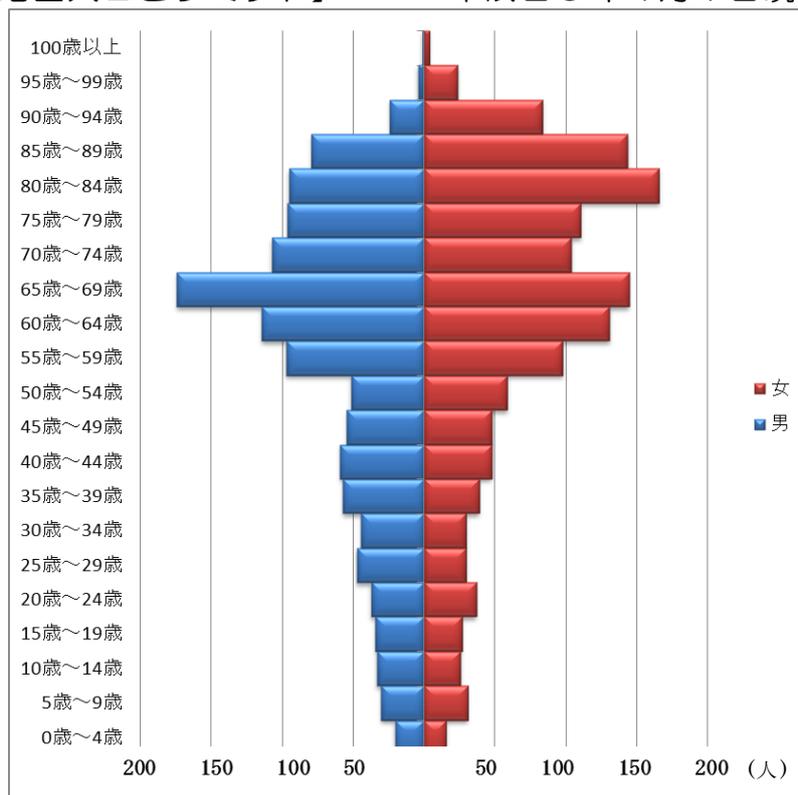
鳳来北西部地域自治区の平成29年4月1日現在の行政区別年齢構成です。鳳来北西部全体の高齢化率は51.22%と高く、14歳以下が5.87%と少子高齢化が進んでいることがわかります。特に源氏区、大輪区、湯島区は14歳以下が0人で、島田区は、65歳以上の割合が北西部の中でも多い地域となっています。

※住民基本台帳をもとに記載しています。

【2017年 地区別年齢構成】（単位：人）※（）内は全体に占める割合（単位：%）

行政区	14歳以下	15歳～64歳	65歳以上	計
玖老勢	50(7.35)	277(40.74)	353(51.91)	680
副川	14(11.67)	58(48.33)	48(40)	120
門谷	11(5.85)	67(35.64)	110(58.51)	188
布里	18(7.38)	128(52.46)	98(40.16)	244
只持	8(7.47)	54(50.47)	45(42.06)	107
一色	7(6.31)	50(45.04)	54(48.65)	111
塩瀬	9(7.44)	68(56.20)	44(36.36)	121
島田	3(6)	11(22)	36(72)	50
源氏	0(0)	17(36.96)	29(63.04)	46
恩原	3(4.92)	28(45.90)	30(49.18)	61
大輪	0(0)	10(29.41)	24(70.59)	34
湯島	0(0)	13(65)	7(35)	20
海老	25(4.09)	243(39.84)	342(56.07)	610
四谷	3(2.31)	60(46.15)	67(51.54)	130
連合	5(3.65)	57(41.61)	75(54.74)	137
計	156(5.87)	1,141(42.91)	1,362(51.22)	2,659

【鳳来北西部地区人口ピラミッド】 平成29年4月1日現在（単位：人）



### 3 人口推計

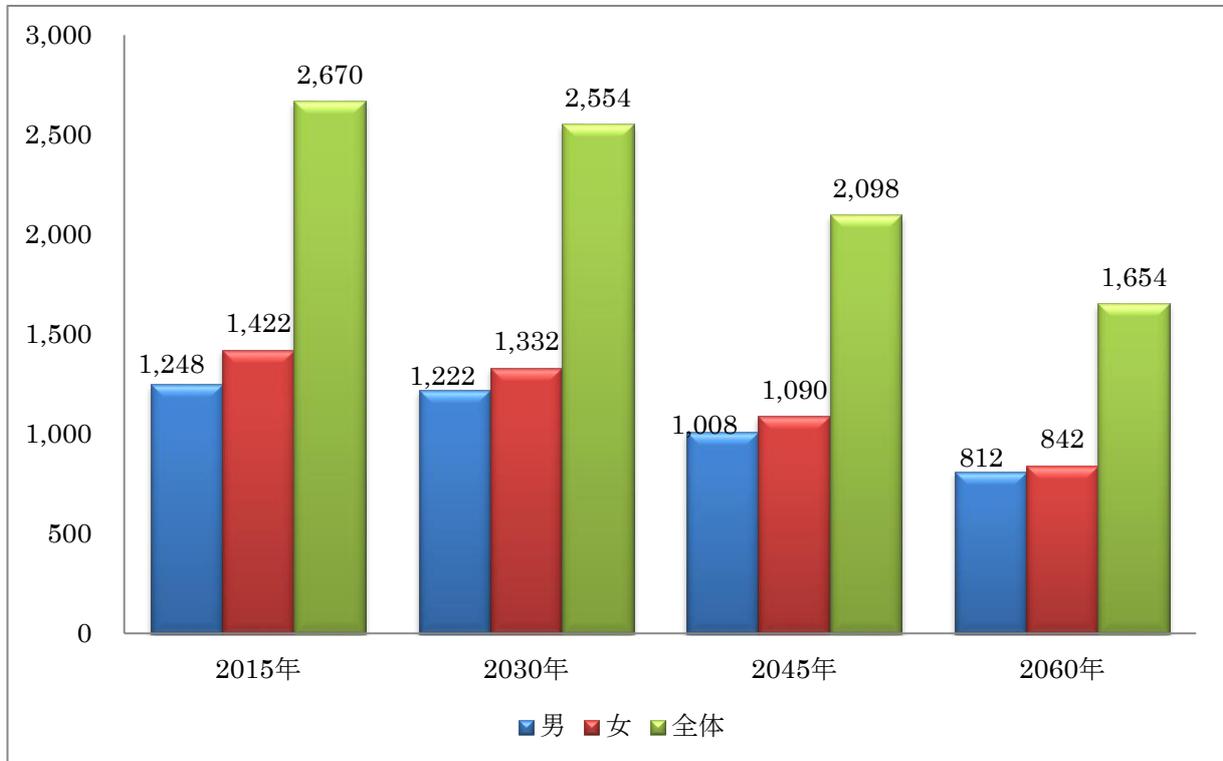
鳳来北西部地域自治区の人口は、今後減り続け、2060年には1,654人となると推測されています。

※いずれのデータにも外国人は含んでいません。

※国勢調査実績値と総合計画予測値を記載しています。

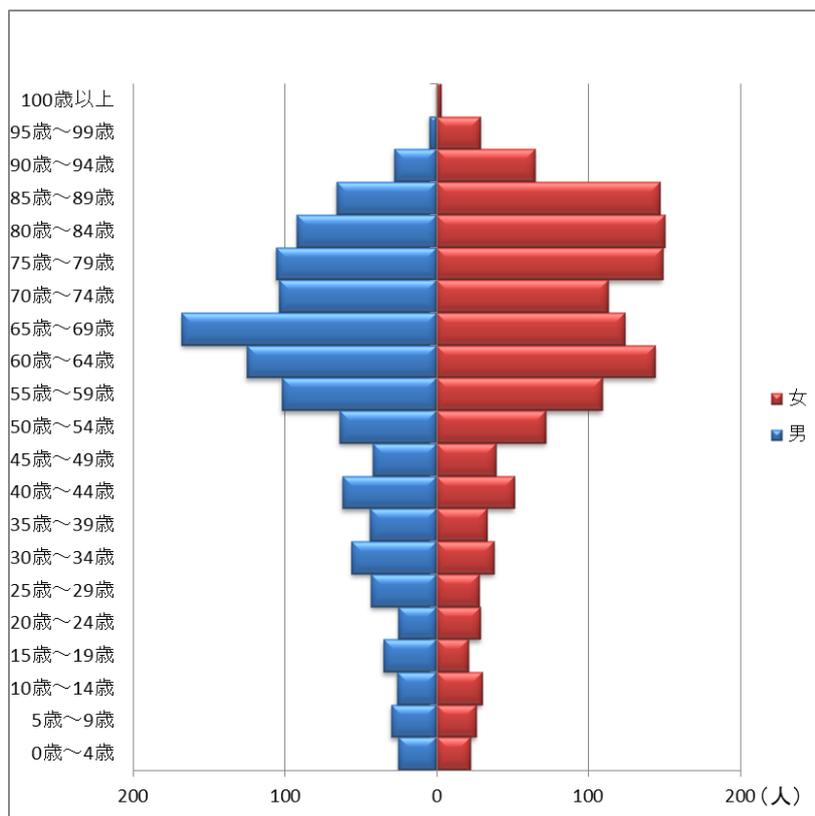
【鳳来北西部人口推計】

(単位：人)



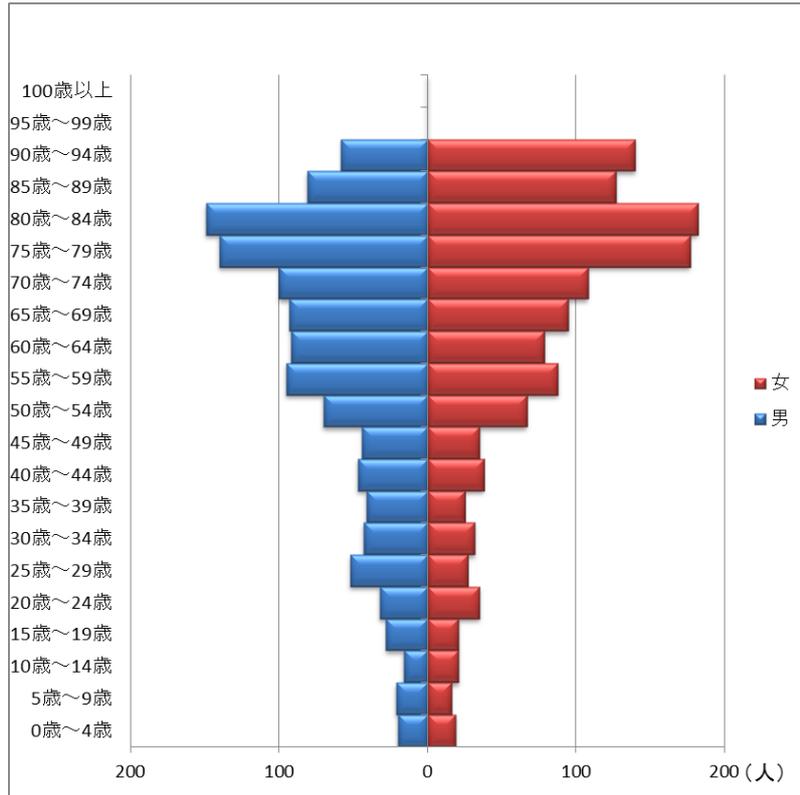
【2015年 鳳来北西部 人口ピラミッド】

(単位：人)



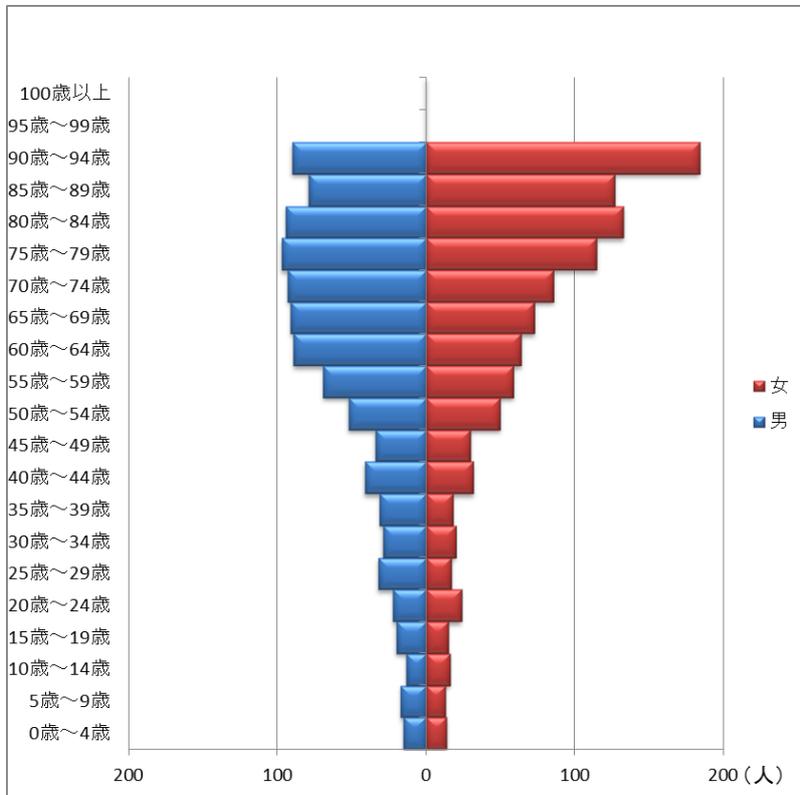
【2030年 鳳来北西部 人口ピラミッド】

(単位：人)



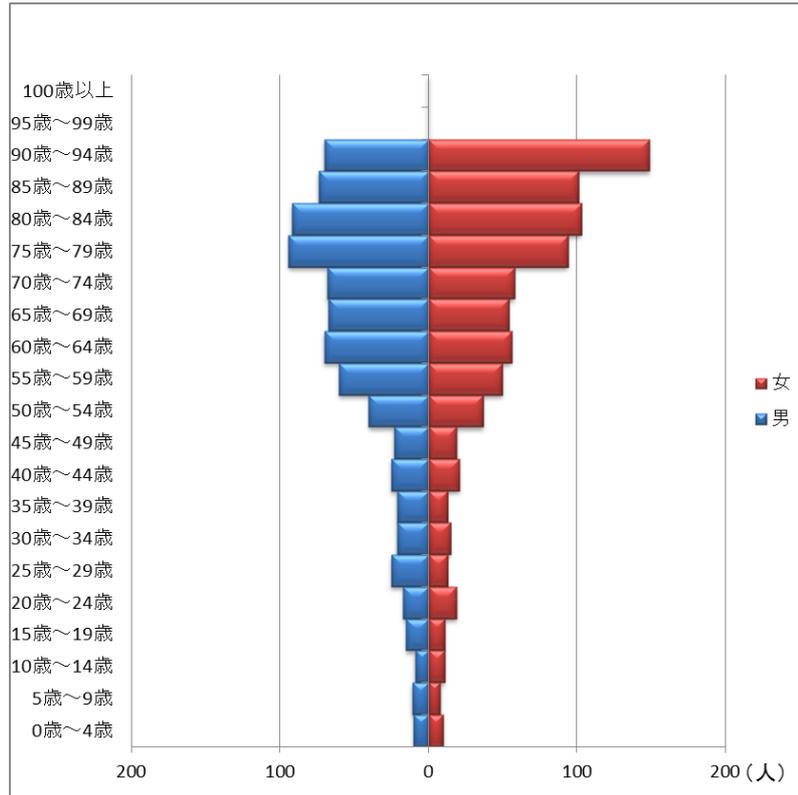
【2045年 鳳来北西部 人口ピラミッド】

(単位：人)



【2060年 鳳来北西部 人口ピラミッド】

(単位：人)



4 子ども達の現状

(1) こども園

平成 28 年度で鳳来西こども園が閉園し、鳳来北西部地域自治区内には鳳来こども園のみとなりました。

【鳳来こども園園児数】 平成 29 年 4 月 1 日現在

2 歳児	年少	年中	年長	合計	家庭数
0 人	9 人	10 人	12 人	31 人	30

(2) 小学校

児童数の減少によって、平成 28 年 4 月に鳳来寺小学校、鳳来西小学校、海老小学校、連谷小学校の 4 校が統廃合し、鳳来寺小学校となりました。

平成 29 年 4 月現在、児童数は 66 名です。児童は、徒歩あるいはスクールバス、豊鉄バスにより通学しています。小学校から一番遠くに住む児童は、約 40 分かけて通学しています。

【鳳来寺小学校児童数】 平成 29 年 4 月 1 日現在

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
12 人	9 人	12 人	12 人	9 人	12 人	66 人

(3) 中学生

鳳来中学校へ通学する生徒は、路線バスを利用しています。

鳳来西地区の一部の生徒は、平成 27 年度に布里田峰線のルート変更により、それまで 3 回乗り換えていましたが、朝の 2 便は 2 回の乗換えで済むようになりました。しかし、帰りの便は 3 回乗り換えが必要です。

## 【鳳来北西部地域自治区内の中学生生徒数】

平成 29 年 4 月 1 日現在

1 年生	2 年生	3 年生	合計
11 人	18 人	9 人	38 人

## 5 主な施設

公民館・集会所	所在地
玖老勢コミュニティプラザ	玖老勢字藪ノ内 12-3
長楽集会所	玖老勢字森下 18
葛集会所	玖老勢字中屋 27
玖老勢集会所	玖老勢字上貝津 8-3
副川集会所	副川字大貝津 26
布里コミュニティセンター	布里字堂下 110
布里集荷所	布里字下神田
布里集会所	布里字釜土戸
只持老人憩の家	只持宮ノ前 30
一色集会所（一進館）	一色字棒川 52
塩瀬公民館	塩瀬字中平 17-1
島田公会堂	愛郷字大貝津 27-3
源氏集会所	愛郷字坂脇
愛郷公民館	愛郷中嶋 17-3
光輪寺	愛郷字北平
湯島集会所	中島藪下
海老構造改善センター	海老字千原田 5-1
中町集会所	海老字野辺
千原田集会所	海老字千原田
下町集会所	海老字南貝津
丁塚 2 組集会所	海老字丁塚
滝上老人憩の家	海老字池貝津 28-9
入洞集会所	海老字宮脇
川売集会所	海老字紙屋
須山集会所	連合字奥貝津 2
大代集会所	四谷 574
大林集会所	四谷 1195
身平橋集会所	四谷 320
医徳寺	海老字柿田 21
与良木組集会所	連合字平戸屋
方瀬公会堂	連合字仲曾根
真菰組集会所	連合字真菰

こども園・小学校	所在地
新城市立鳳来寺小学校	玖老勢字大栗平 1
新城市立鳳来こども園	新城市玖老勢便福 17

共育施設	所在地
鳳来寺共育施設（ぶっぼ～荘）	玖老勢大栗平 1

郵便局・JA	所在地
鳳来寺郵便局	玖老勢井ノ本 3-7
鳳来布里郵便局	布里字下貝津 102-2
鳳来海老郵便局	海老正法寺 18-7
愛知東農協鳳来寺支店	玖老勢字追分下 6-1

駐在所	所在地
新城警察署玖老勢駐在所	玖老勢字上貝津 12-2
新城警察署鳳来西駐在所	只持字中貝津 32-1
新城警察署海老駐在所	海老字宮ノ前 55-1

消防署・消防団詰所	所在地
新城市消防署鳳来分署	門谷万寿 3-20
鳳来寺分団詰所	玖老勢便福
鳳来西分団詰所	布里御堂橋
海老分団詰所	海老千原田

病院・介護施設	所在地
静巖堂	副川字大貝津 13
宮本医院	海老字野辺 23
新城市鳳来在宅介護支援センター	玖老勢字杉和手 3
特別養護老人ホームくるみ荘	玖老勢字クルミ沢 1-2

その他	所在地
鳳来寺自然科学博物館	門谷字森脇 6
鳳来寺山歴史考証館（観来館）	門谷字木戸 2-3
山びこの丘	玖老勢字新井 9

## 6 公共交通

鳳来北西部地域自治区には、市営バス（Sバス）が2路線、豊鉄バスが2路線運行しています。

市営バスは、主に鳳来西地区を走り、鳳来中学校、大海駅まで行くことができます。また、接続する北部線、JR飯田線へ乗り換えることで、新城地区などへ行くことができます。

田口新城線、四谷千枚田新城線は、新城市民病院まで直接行くことができます。

どの路線も中学生の通学手段となっています。多い子は、3回の乗換えが必要な状況で、学区が広いこの地域特有の課題の一つです。

**市営バス（Sバス）**

布里田峯線・塩瀬線

**豊鉄バス**

田口新城線・四谷千枚田新城線

## 7 地域の行事・特産品等

**地域の行事**

3月上旬～下旬	川売の梅まつり（川売地区）
4月上旬	枝垂花桃のお花見会（玖老勢地区）
3月中旬	しかうち神事（白鳥神社 恩原）
4月下旬	しかうち神事（諏訪神社 海老副川）
6月下旬～	鮎釣り解禁（寒狭川・巴川・海老川）
6月下旬	寒狭川広見ヤナ ヤナ開き
6月第4日曜日	利修仙人のお祭り（玖老勢地区）
8月13日	はねこみ（身平橋地区）
8月14日	放下（一色地区）・はねこみ（方瀬・真菰地区）
8月15日	放下（布里地区・塩瀬地区）
11月上旬～	鳳来寺山もみじまつり（鳳来寺表参道）
11月中旬～下旬	千の灯火（鳳来寺表参道）
10月中旬	津島神社秋祭り（玖老勢地区） 海老神社秋の大祭（海老地区） 諏訪神社秋の大祭（海老副川）
12月下旬	傘杉しめ縄張替え（鳳来寺）
1月上旬	鳳来寺初詣・鳳来山東照宮初詣
1月3日	鳳来寺田楽（鳳来寺）
2月中旬	火渡り神事（塩瀬地区）
2月上旬	あまご釣り解禁（寒狭川・巴川・海老川など）

**地域の見ごろ**

3月中旬～下旬	彼岸桜（全域）
3月末～4月上旬	ソメイヨシノ・山吹（全域）
4月中旬	山桜・川ツツジ（全域）
4月上旬	源平枝垂花桃（玖老勢地区）
5月上旬	ホソバシャクナゲ・ドウダンツツジ（副川地区・布里地区など）
5月上旬～下旬	田植え（四谷の千枚田・島田の棚田など）
5月中旬	お茶摘み（全域）
6月中旬	ホタルの飛翔（寒狭川・巴川・海老川・音為川など）
9月上旬	稲刈り（四谷の千枚田・島田の棚田など）
9月上旬～下旬	彼岸花（全域）
11月上旬～	紅葉（鳳来寺山表参道・巴川浴いなど）

**特産品**

梅・梅加工品・ジビエ料理・鮎・あまご・鳳来寺硯・五平餅・新鮮野菜など

## 8 地域の組織・団体

### 1 区組織

#### (1) 行政区

玖老勢区、門谷区、副川区、布里区、只持区、一色区、塩瀬区、島田区、源氏区、恩原区、大輪区、湯島区、海老区、四谷区、連合区。各行政区の活動を進めるほか、鳳来北西部全体の区長会である鳳来北西部区長会や鳳来西地区の行政区で構成する西部区長会、海老地区の行政区で構成する海老地区会などを定期的に行い、連携を図っている。

#### (2) 自主防災会

各区に「自主防災会」を設置し、災害発生時などにおける住民の避難、応急手当、救助、初期消火など住民の安全確保活動のため、訓練や活動備品整備、管理を行っている。

#### (3) 公民館

夏祭りや敬老事業など住みやすい地域づくりのためのコミュニティ活動、公民館活動を実施している。



#### (4) 交通安全推進協会

鳳来寺交通安全推進協会、鳳来西交通安全推進協会、海老交通安全推進協会があり、各地区において交通立ち番や看板などの設置による交通安全の呼びかけなどを行い、地域の交通安全活動を展開している。

#### (5) 消防団

新城市消防団第3方面隊（鳳来寺分団、鳳来西分団、海老分団）が地域住民が安心して暮らすことのできるよう火災予防のためのパトロールや消火活動などを行っている。

#### (6) 伝統文化の継承・保存組織

鳳来寺田楽、放下踊り（布里地区、一色地区、塩瀬地区）、はねこみ（見平橋地区、方瀬・真菰地区）など地域に伝わる伝統文化を継承、保存するため、保存会などを組織している。



#### (7) 老人クラブ

高齢者の生きがいや健康づくりに関する事業を各地区で実施している。新城市老人クラブ連合会に所属する錦生会（鳳来西地区）、連谷明老会（連合・四谷地区）のほか、各地区で高齢者向け事業を実施する団体がある。



(8) 地域活動組織

① 地域活動交付金活用団体 ※現在活動していない団体も含む。

団体名	実施年度	活動概要
玖老勢区	平成 25 年度 平成 27 年度	玖老勢区民及び鳳来こども園児の健康増進を図るため、区民広場の整備等を実施した。
海老地区会	平成 25 年度 平成 26 年度	地区に区民の集まる公園のような施設がないことから、旧海老公民館跡地に、区民の手作りによる憩いと集いの場所として「区民公園」を設置した。
松下組	平成 25 年度	ゴミ収集所が猫などに荒らされ、景観を損ねている。観光地である四谷の千枚田に隣接していることから、印象も悪いため、ゴミ収集庫を設置した。
鞍掛山麓千枚田保存会	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度	「四谷の千枚田」において、地域住民の意欲再認識構築のため、他地域の人々との交流活動を図り、各種イベント、環境学習活動等の実施による地域振興を進める。
“愛里の郷”委員会	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度	地域資源の保全、桜の手入れなど里山の景観保全を行い、この地域を内外へ発信している。
玖老勢・門谷・副川 花いっぱい運動	平成 25 年度 ～ 平成 28 年度	“花いっぱい”を地域づくりの基盤ととらえ、住民参加型の活動を実施している。併せて、住民相互の信頼、連携・連帯意識の発揚を促し、実状に合った安全安心のあるまちづくりを行っている。
鳳来寺小学校区家庭 教育推進協議会 (現在は、小学校地域連 携協議会)	平成 25 年度 ～ 平成 27 年度	鳳来寺小学校が実施している放課後の活動（ムーちゃんタイム）を地域住民が支援するとともに、気軽に集える企画を展開して、「あそびにこんかん」に憩える場所をつくった。
玖老勢・副川公民館	平成 25 年度	地域の高齢化に伴い、足腰の不調などを理由に行事などに参加を見合わせる状況が見られるため、参加しやすい環境・設備を備えた。
山村美化グループ	平成 25 年度 平成 26 年度 平成 28 年度	連合地区の将来を展望し、“道”に着眼した環境美化を促進している。市道稲目清崎線の連合地内の道路及び周辺の整備、美化を行い、ウォーキングやジョギングを楽しみたくなるような道作りを図った。
西っ子クラブ	平成 25 年度	妊産婦、育児をする母親の心身の健康管理能力の向上と育児不安の軽減を図るため、インストラクターによるヨガと交流会を行った。
門谷総合開発委員会	平成 26 年度 ～ 平成 29 年度	新都市の主要な観光地である鳳来寺山の表参道に、更に多くの集客を目指し、主に秋の紅葉時季の期間中、参道沿いの紅葉している樹木の夜間照明を実施した。また、参道沿いにベンチを設置した。

団体名	実施年度	活動概要
ふるさとを語る会	平成 26 年度 平成 29 年度	毎月末、集会所にて地元有志により、古くから地域に伝わる古文書、石仏、建物についての勉強会や、屋外での調査、見学会を実施した。 また、玖老勢・副川で伝承されてきた埋没の恐れのある伝説、民話を再発見し、今昔の街並図の作成などを行い、書籍を発行し公共施設へ配布した。
与良木組	平成 27 年度	組で管理する墓地の環境整備と機能向上を図るため、通路の舗装と手すりの設置、水道の敷設を行った。
明るい農村づくり委員会	平成 27 年度 ～ 平成 29 年度	海老須山地区への主要幹線道路である市道須山線と農道須山方瀬線の防災上の課題の改善と沿線道路の美化活動によるコミュニティの活性化を図るため、道路整備と集落内の景観の改善を実施。
郷土地名研究会	平成 27 年度	失われゆく地名を中心に郷土の歴史や文化を調査・研究し、その保存や普及を図るため、地区内の地名、歴史、文化財、伝承、民族調査とその研究ならびに成果を冊子にまとめて海老連谷地区全戸に配布した。
鳳来西こども園母の会	平成 28 年度	鳳来西こども園の最後の一年間をこの園に通うこどもたちの思い出となるよう、またこの園に関わる方々への感謝の気持ちを込めた交流事業を実施した。
里山を愛する会	平成 28 年度	地域内外にこの地域の良い所を知ってもらい、地域に足を運んでもらえるよう鳳来北西部ガイドマップを作成し、PRを実施した。
門谷上組・中組	平成 28 年度	地域を維持し、鳳来寺山の歴史を感じられる町並を目指し、表参道を住民も観光客も楽しめる場所に変えていくため、川沿いの散歩道の整備や表参道の夜間照明、空家の整備・活用、地域行事の復活等を実施した。
海老に花を育てる会	平成 29 年度	里山の自然と人間の関わりを保ちながら海老地区の景観と環境美化を図ることを目的に、稲目・滝上間の旧田口線跡地に四季折々の花の咲く低木を植樹した。
連谷公民館	平成 29 年度	廃校となった連谷小学校の草刈り、環境整備を住民で行い、同時に住民同士の交流のため、グラウンドゴルフを実施した。住民同士の交流の場とすることで、絆を深め、住民の健康増進、介護予防を図った。



② その他活動団体

団体名	活動概要
NPO 法人 森林真剣隊	<p>山のことを知ってもらうために、森で遊び、植樹や間伐、ときにはきのこと狩りをしてみんなで食事をする「いろいろの森」の開催や、森を元気にを合言葉に市の受託事業である「市民参加の森づくり事業」などを行っている。他にも、森に関心のある方々を対象としたチェーンソーの初歩の取扱いを学べる「しんしろ森の学校」、市有林の間伐や整備を体験できる「市民管理の森づくり」、上級者向けの「森林ボランティアリーダー養成講座」、小学校などへの「出前講座」など多くの事業を展開している。</p>
川売地区	<p>川売地区の11戸の農家が数種類の梅を約1,500本植え育てている。毎年、彼岸の中日(3月20日頃)が見頃となり、同時期に梅花まつりを開催している。</p> 

(9) 鳳来寺小学校PTA・鳳来こども園母の会・小学校地域連絡協議会

平成28年の統廃合により、鳳来北西部地域に一つになった小学校とこども園において、園児、児童の健やかな成長を願い、こども園、小学校とともに地域と連携した教育的活動を展開する。



## 第3章 地域の課題・将来像

### 1 課題と将来像

鳳来北西部地域協議会は、「地域振興」、「子育て」、「生き生き（高齢者支援）」の3つを柱に住みたくなるまちづくりを進めていきます。

これまで、分野ごとに分科会を設置し、課題の抽出、その解決方法やこうなっていきたいという将来像を検討してきました。地域の課題のほか、地域の活かすべき点についても考えました。

#### （1）地域振興

##### 将来像：多くの人交流できるまち

鳳来北西部地域自治区には、全国的に有名な鳳来寺山や四谷の干枚田をはじめとする観光資源が豊富にあります。他にも、自然豊かでハイキングや釣り、川遊びなど自然と触れ合える場所が多くあります。

しかし、こういった観光資源を活かしきれていないことから、観光客も減少しています。

この地域を訪れる人を増やすための地域外へのPRのほか、訪れた人がこの地域の魅力を実感できる環境整備を行い、観光客が多く訪れるまちを目指します。



##### 将来像：伝統行事が受け継がれるまち

鳳来寺田楽、放下踊り、はねこみなど各地域で受け継がれてきた文化が豊富です。

しかし、人口減少によりこれらの伝統行事の担い手も減少しており、教育する人も高齢化しています。

こういった伝統行事を後世に受け継ぐため、子ども達への教育や動画を残すなどの事業を実施し、伝統行事の保存を進めるとともに、将来の担い手の育成を進めます。



##### 将来像：安全・安心に暮らせるまち

山間部が大半を占める鳳来北西部地域自治区は、道が狭く、見通しが悪い場所が多くあります。また、市道沿線は、枝木が邪魔で通行に支障がある部分もあります。

災害や事故などの際は、孤立する地域もあり、救急車や消防車が来るまでの初期対応を消防団や地域住民によって行わなければなりません。

この地域の防犯・防災力を向上させ、安全安心に暮らせるまちを目指します。

## 将来像：地域自治活動が活発なまち

人口減少、少子高齢化にともない、地域の担い手が不足し、昔はできていた地域活動が出来なくなってきています。

地域活動を支援することにより、活発な地域づくりを目指します。

## (2) 子育て

### 将来像：地域で子どもを育てるまち

少子化により、子どもの数は年々減少し、4校あった小学校は平成28年度から1校となり、また、こども園も平成29年度から1園となりました。

また、地域に習い事が出来る場所は少なく地域外へ親が送り迎えしなければなりません。

一方で、この地域は、自然が多く、子どもが遊べる場所がたくさんあります。

また、高齢者をはじめ、隣近所の住人が子ども達を自然と見守ってくれる環境があり、いろいろな特技や技を持った名人がたくさんいます。

地域の自然や人的資源を活用し、地域で子ども達を見守り、安心して子育て出来る環境づくりを目指します。

また、地域活動団体への各種支援、地域と子ども達の交流事業を推進し、園や小学校などの情報を地域へ積極的に発信します。



### 将来像：子どもが安全に移動できるまち

こども園や小学校が鳳来北西部地域自治区内にそれぞれ1つとなったことにより、通園・通学にかかる時間が長くなり、保護者の負担も増加しています。また、大きくなった区域において、放課後に友達と遊ぼうにも近所に友達は少なく遊ぶ機会が減少しています。

通学路は、道が狭く、見通しの悪い所があり、保護者の送り迎えやスクールバスの通行が危険な箇所があり、安全対策が必要です。また、通学路やスクールバスの乗降場所など児童の防犯対策も重要です。

通学路の安全の確保に努め、通園に係る親の負担を少しでも軽減できるような事業を実施し、子どもが安全に移動できるまちを目指します。

### 将来像：安心して遊び学べる環境があるまち

安全に子ども達が学んだり、遊んだりするには、老朽化や危険な箇所がないかを把握する必要があります。こども園や学校施設だけでなく、川への降り口や広場など子ども達の遊び場の安全も確保する必要があります。

また、地域には遊具がある広場がなく、母親同士が交流できる機会や場所も少ない状況です。子ども達を遊ばせ、母親達が子育ての相談ができるような機会の創出、場所の確保も必要となります。

子ども達が安全に学び遊べる環境の整備を目指します。

### (3) 生き生き（高齢者支援）

#### 将来像：高齢者が安心して暮らせるまち

一人暮らしの高齢者が増えている中で、緊急時の対応や見守り体制の構築が必要となっています。

また、高齢者が悩み事を気軽に相談できる機会の創出や地域内を安全に外出できる環境整備も必要です。

こういった状況を少しでも改善するため、緊急時の際の連絡体制の構築や隣近所で悩み事などを相談できる環境整備、道路の危険箇所や段差などを把握し、解消することで、高齢者が安心して暮らせるまちを目指します。

#### 将来像：高齢者が元気なまち

高齢者世帯の引きこもりなど、地域との交流が減ってきています。家にずっといることで、体を動かす機会が減少し、健康に影響を及ぼすことも考えられます。

高齢者を対象とした健康体操やラジオ体操の推進、ウォーキングコースの利用促進、地域内の交流事業の開催の支援をするほか、地域事業への参加を促進していくことで、高齢者が健康な生活を送り、通院の回数を減らせるようにします。



#### 将来像：気軽に買い物・通院ができるまち

近年高齢者のドライバーによる自動車事故が多く発生していますが、この地域は買い物や通院など自家用車に頼らざるを得ない状況です。

また、地域内には小規模な食料品店が点在していますが、多くは、新城地区へ買い物に行かざるを得ません。

自家用車に出来るだけ頼らず、通院や買い物に行けるよう市営バスや路線バスの活用を促すとともに関係機関と連携し、利用しやすい運行体系の実現を目指します。

また、買い物支援について、市や社会福祉協議会と連携し、この地域にあった支援を実施します。

## 第4章 推進計画

第4章においては、第3章で示した各分野の目標を実現するための施策や事業について示します。

### ■表の説明

- 分野・・・「住みたくなるまちづくり」を進めるための3つの柱（地域振興・子育て・生き生き）。
- 目標・・・3つの柱（地域振興・子育て・生き生き）ごとの将来像。
- 施策・・・目標を達成するための施策
- 事業内容・・・施策ごとの事業内容
- 時期・・・事業を実施する時期
  - 前期：すぐに取りかかる事業（平成30年度～平成32年度）
  - 中期：中期に取りかかる事業（平成33年度～平成36年度）
  - 後期：後期に取りかかる事業（平成37年度～平成39年度）
- 主体・・・事業を実施する主体。
  - 地域：地域活動団体や行政区など市民の皆さんが主体となって実施する事業。
  - 協働：地域と行政と一緒に実施する事業。
  - 行政：市役所が実施する事業。
- 実施体制・・・主に事業に関わる団体。

# 1 地域振興分科会

分野	目標	施策	事業内容	時期			主体			実施体制
				前期	中期	後期	地域	協働	行政	
地域振興	多くの人が交流できるまち	地域の情報発信	<p>鳳来北西部 GUIDMAP を鳳来北西部地域自治区内を中心に市内に配布し、新城市へ来たお客さんに鳳来北西部地域へ寄ってもらうように案内します。</p> <p>また、ホームページに掲載し、市内外へこの地域をPRします。</p>	○				○		地域活動団体、行政区、市観光協会、市関係機関など
			<p>鳳来北西部 GUIDEMAP を随時最新の情報に更新します。</p>			○		○		地域活動団体、市関係機関など
			<p>鳳来北西部地域自治区全体の地図看板やちょっとした案内看板（間伐材利用）を設置します。</p>	○				○		地域活動団体、市関係機関など
			<p>春夏秋冬の見どころや宿泊先などホームページやSNSにより広く周知します。</p> <p>また、動画など映像によるPRも検討します。</p>			○		○		地域活動団体、市観光協会、市商工会、市関係機関など
			<p>トレイルランニングや自転車など人気のスポーツができる環境があります。こういった資源を利用した事業の検討について、外部人材の活用や拠点施設として旧門谷小学校などの活用について検討します。</p>			○		○		行政区、地域活動団体、外部人材、市関係機関など
	地域資源の整備	<p>1か所だけでなく複数ヶ所を周ることができ「北西部ぐるっと周遊コース」を設定します。</p>		○				○		行政区、地域活動団体、市観光協会、市商工会、市関係機関など
		<p>鳳来寺地区の花桃、鳳来西地区の桜や岩ツツジ、海老地区のとうせん桜や川売の梅など季節ごとに花を楽しむよう環境整備を行い、“はなのまち 鳳来北西部”を推進します。</p>	○				○		行政区、地域活動団体など	
		<p>既存商店や商工会との連携により、地域に経済効果を生む事業を検討します。</p>			○		○		行政区、地域活動団体、市商工会、市関係機関など	
		<p>観光地に駐車場が少ないため、駐車場についての検討を行います。</p>		○				○	市関係機関 (行政区、地域活動団体、市観光協会など)	

S N S・・・ ソーシャル・ネット・ワーキングサービスの略。社会的ネットワークをインターネット上で構築し、人と人をつなぎ、コミュニケーションを楽しむためのサービス。

トレイルランニング・・・ トレイルとは登山道や林道などのことを言い、舗装されていない主に山の中を走るアウトドアスポーツ。

分野	目標	施策	事業内容	時期			主体			実施体制
				前期	中期	後期	地域	協働	行政	
地域振興	伝統行事が受け継がれるまち	伝統文化保存事業	伝統文化の保存のため、動画による保存を行ったり、子ども達に各地域の伝統文化を伝承し、将来の担い手を育成する事業の検討をします。	○				○		伝統文化の保存会、市関係機関など
	安全・安心に暮らせるまち	安全・安心な暮らしの実現	地域安全灯の設置や防災活動の支援、生活道の維持、交通安全施設の整備、消防団活動の支援のほか AED の普及や有害鳥獣対策の検討、市道沿線の見通しをよくするための活動などを実施します。	○				○		行政区、自治防災会、消防団、市関係機関など
	地域自治活動が活発なまち	地域自治活動の支援	地域の自治活動に必要な備品等の整備や集会所等の整備について支援することで、地域自治活動を活発にします。	○				○		行政区、地域活動団体、市関係機関など

A E D・・・ 自動体外式除細動器のこと。心室細動を起こした人に電気ショックを与えることで、正常なリズムに戻すための医療機器。

## 2 子育て分科会

分野	目標	施策	事業内容	時期			主体			実施体制
				前期	中期	後期	地域	協働	行政	
子育て	地域で子どもを育てるまち	共育・地域と子どもの交流の推進	こども園や小学校の行事、母の会、PTA 活動、共育活動など、ホームページや SNS 等を利用し、その活動を地域住民へ広く周知することで、地域住民に子育てに関心を持ってもらいます。	○				○		PTA、こども園母の会、行政区、学地連、こども園、小学校、市関係機関など
			共育活動を行う団体と連携を密にし、ボランティアの確保など必要な支援を検討、実施します。	○				○		共育活動団体、PTA、こども園母の会、行政区、学地連、こども園、小学校、市関係機関など
			地域と子どもの交流事業を推進し、支援します。	○			○			地域活動団体など
子どもが安全に移動できるまち	子どもの移動手段の確保	子どもの移動手段の確保	広域となった学区において、地域間の交流、学習などの移動について、市営バス(Sバス)や路線バスの活用を促進し、資金的な支援も実施します。		○			○		PTA、布里田峰線・塩瀬線を守り育てる会、学地連、小学校、市関係機関など
			中学校のバス乗換えの負担を軽減するような運行となるよう、関係機関と連携し改善に努めます。		○			○		保護者、布里田峰線・塩瀬線を守り育てる会、中学校、市関係機関など
			遠方からの通園による親の時間的、金銭的負担を改善できるような事業を検討・実施します。		○			○		こども園母の会、保護者、こども園、市関係機関など
	通学路の安全確保	通学路の安全を確保するため、危険箇所を把握し、その改善のため、関係機関等と調整を実施します。また、カラー舗装やバス停への安全灯設置など、地区と連携して、実施します。	○				○		PTA、保護者、行政区、学地連、小学校、中学校、市関係機関など	

共 育・・・ 新都市の進める教育理念。子どもを軸にその未来を第一に考え、学校を拠点に、学校・家庭・地域の老若男女が地域絡ぐるみで、ふるさと新城の「自然・人・歴史文化の三宝」を活かし、共に過ごし、共に学び、共に育つ、「感動・創造・貢献の活動」を創り出すこと。活動を通して、顔と名前のわかるネットワークを広げ、地域の安全を守り、活力あるまちづくりを進める。

学 地 連・・・ 正式名は、鳳来寺小学校区地域連携協議会。学校と地域との連携を強め、健やかな児童の育成を見守り、PTA 活動を支援するとともに、地域間の交流と情報の共有を図ることを目的とする。

分野	目標	施策	事業内容	時期			主体			実施体制
				前期	中期	後期	地域	協働	行政	
子育て	安心して学び遊べる環境があるまち	学び場・遊び場の安全確保	こども園や小学校のほか、川の降り口や広場などの子ども達が遊ぶ場所において、老朽化や危険な場所はないかを把握し、必要な安全の確保を目指します。また、子ども達を安全に遊ばせられ、母親たちが交流できる場所の確保に努めます。	○				○		PTA、こども園母の会、保護者、行政区、学地連、こども園、市関係機関など

### 3 生き生き分科会

分野	目標	施策	事業内容	時期			主体			実施体制	
				短期	中期	長期	地域	協働	行政		
生き生き（高齢者支援）	高齢者が安心して暮らせるまち	高齢者の見守り体制の構築	緊急時に自ら緊急連絡先へスムーズに連絡をとれるような体制の構築や身近に困りごとを相談できる人の確保、高齢者のみの世帯などの地域による見守り体制の構築を目指します。	○				○		行政区、市社会福祉協議会、関係機関など	
			高齢者が安全に外出できるよう道路の危険個所の把握やその改善を目指します。	○				○		行政区、市関係機関など	
	高齢者が元気なまち	健康管理事業	健康体操やラジオ体操、ウォーキングコースの環境整備とその利用促進など高齢者が健康な生活ができるような事業を推進します。 また、高齢者と地域の交流事業の開催を支援し、高齢者の孤立を防ぎます。		○				○		行政区、地域活動団体、市関係機関など
			自家用車に頼らなくとも通院や買い物に行けるよう市営バスや路線バスの活用を促すとともに利用しやすい運行体系などを関係機関と連携し、検討します。 また、地元商店との連携や民間事業者の動向を注視しつつ、買い物支援事業を検討し、必要な支援を実施します。		○				○		地元商店、民間事業者、布里田峰線・塩瀬線を守り育てる会、市関係機関など

## 資料 策定委員・地域活動支援員

### 【平成 28 年度策定委員】

No.	氏名	役職・分科会	地区
1	青木 守	地域協議会会長・子育て分科会長	鳳来西
2	小笠原喜好	地域協議会副会長・地域振興分科会長	鳳来寺
3	長谷川勇造	地域協議会副会長・生き活き分科会長	海老
4	中村 恵次	地域協議会委員・地域振興分科会委員	鳳来寺
5	森 孝	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来寺
6	原田 勇	地域協議会委員・子育て分科会委員	鳳来寺
7	太田 和利	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来寺
8	小笠原好一	地域協議会委員・子育て分科会委員	鳳来寺
9	原田 守	地域協議会委員・地域振興分科会委員	鳳来西
10	竹下 久男	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来西
11	筒井 郡治	地域協議会委員・子育て分科会委員	鳳来西
12	竹川 久美	地域協議会委員・地域振興分科会委員	鳳来西
13	青木 清人	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来西
14	丸山 雅四	地域協議会委員・子育て分科会委員	海老
15	松下 尚弘	地域協議会委員・地域振興分科会委員	海老
16	加藤 雅雄	地域協議会委員・地域振興分科会委員	海老
17	濱島 義武	地域協議会委員・生き活き分科会委員	海老
18	夏目 保夫	地域協議会委員・子育て分科会委員	海老

### 【平成 29 年度策定委員】

No.	氏名	役職・分科会	地区
1	小笠原喜好	地域協議会会長・地域振興分科会長	鳳来寺
2	青木 守	地域協議会副会長・子育て分科会長	鳳来西
3	長谷川勇造	地域協議会副課長・生き活き分科会長	海老
4	丸山 吉人	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来寺
5	片桐 誠	地域協議会委員・地域振興分科会委員	鳳来寺
6	織田 敏孝	地域協議会委員・子育て分科会委員	鳳来寺
7	原田 義春	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来寺
8	森田 豊孝	地域協議会委員・子育て分科会委員	鳳来寺
9	原田 守	地域協議会委員・地域振興分科会委員	鳳来西
10	竹下 久男	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来西
11	竹下 芳秀	地域協議会委員・地域振興分科会委員	鳳来西
12	城所 敏行	地域協議会委員・子育て分科会委員	鳳来西
13	青木 清人	地域協議会委員・生き活き分科会委員	鳳来西
14	小山 幸雄	地域協議会委員・子育て分科会委員	海老
15	原田 英寿	地域協議会委員・地域振興分科会委員	海老
16	福井 隆次	地域協議会委員・地域振興分科会委員	海老
17	今泉 功	地域協議会委員・生き活き分科会委員	海老
18	大山 英子	地域協議会委員・子育て分科会委員	海老

**【平成 29 年度 地域活動支援員】**

No.	氏名	分科会
1	鈴木 勇人	子育て分科会担当
2	林 治雄	子育て分科会担当
3	杉浦 達也	地域振興分科会担当
4	原田 俊介	子育て分科会担当
5	小林 利章	生き生き分科会担当
6	筒井 博明	生き生き分科会担当
7	佐々木正裕	地域振興分科会担当

※地域活動支援員は、地域課題解決や活性化につながる活動を支援し、市民自治社会の創造に寄与することを目的に活動する有志の市職員で、本計画策定においても各種補助を実施しました。

## 資料 策定経過

### 【平成 28 年度】

年月日	内容
平成 28 年 4 月 19 日	平成 28 年度第 1 回鳳来北西部地域協議会 ・地域計画の策定を決定 ・3 つの分科会を設置
平成 28 年 7 月 23 日	鳳来北西部地域自治区住民意見交換会の実施 ・参加者 50 名（公募・地域活動支援員） ・地域課題、良い所、悪い所、こうなったらいいなという将来像についてワークショップを実施
平成 28 年 8 月 22 日	第 1 回分科会開催 ・地域計画の目標を「住みたくなるまちづくり」に決定 ・意見交換会の結果を基に、地域課題の整理を実施
平成 28 年 9 月 21 日	第 2 回分科会開催 ・各分科会ごとに将来の理想像を検討し、その理想像を実現するうえでの課題やその解決方法を検討 第 6 回地域協議会 ・第 2 回分科会の検討内容の共有
平成 28 年 10 月 25 日	第 3 回分科会開催 ・第 2 回分科会に引き続き検討 ・地域の主な施設や活動団体について洗い出し
平成 28 年 11 月 24 日	第 4 回分科会開催 ・第 2 回、第 3 回に引き続き検討
平成 28 年 12 月 7 日	子育て世代に意見を聞く会を開催 ・参加者 19 名（鳳来寺小学校 P T A、鳳来こども園母の会など）
平成 28 年 12 月 19 日	第 5 回分科会開催 ・第 2 回～第 4 回に引き続き検討
平成 28 年 12 月 21 日	ぶっぼ～荘実行委員会との意見交換会を開催 ・参加者 20 名（ぶっぼ～荘実行委員会など）
平成 29 年 1 月 25 日	第 6 回分科会開催 ・これまでの議論を整理し、地域計画の骨子（推進計画案）の作成 第 11 回地域協議会 ・各分科会の進捗状況の共有
平成 29 年 3 月 11 日	第 13 回地域協議会 ・地域計画の骨子（推進計画）の完成
平成 29 年 3 月 18 日	鳳来北西部地区を知る会を開催 ・地域振興分科会委員が地域資源を勉強し、現場視察を実施

【平成 29 年度】

年月日	内容
平成 29 年 5 月 30 日	<b>第 1 回分科会</b> ・これまでの検討経過をおさらい <b>第 2 回地域協議会</b> ・平成 30 年度地域自治区予算事業計画へ地域計画の骨子に記載した事業を反映していくことを決定
平成 29 年 6 月 13 日	<b>第 2 回分科会</b> ・地域計画骨子に基づき、具体的な事業内容について検討 ・平成 30 年度地域自治区予算事業計画へ反映する事業の検討 <b>第 3 回地域協議会</b> ・第 2 回分科会検討内容の共有
平成 29 年 9 月 25 日	<b>第 6 回地域協議会</b> ・平成 30 年度地域自治区予算事業計画へ反映する事業の決定
平成 29 年 10 月 31 日	<b>第 7 回地域協議会</b> ・地域計画案の検討
平成 29 年 11 月 28 日	<b>第 3 回分科会</b> ・地域計画案に対する意見交換 ・各事業の実施時期について再検討 <b>第 8 回地域協議会</b> ・地域計画案の完成
平成 29 年 12 月 15 日 ～ 平成 30 年 1 月 15 日	地域計画案の住民周知と意見募集
平成 30 年 1 月 31 日	<b>第 9 回地域協議会</b> ・地域計画の最終決定